

日時：2007（平成19）年10月27日（土）午前10時30分から午前11時30分まで

場所：熊本大学 文学部1階 第一・第二会議室

出席者：15名（編集委員13名＋支部長＋事務局員・書記）

議長：太田一昭 編集委員長

記録：毛利（事務局）

1. 学会誌の発行について

学会誌の査読体制の強化について議論し、次のことが満場一致で決定された。支部統合号（2008年12月発行予定）に掲載される『九州英文学研究』については、投稿論文の査読は原則として編集委員が行う。ただし、場合によっては編集委員以外の専門家に査読を依頼する場合がある。

また、編集委員長と事務局が協力して支部統合号・『九州英文学研究』の編集スケジュールを作成することが決まった。

2. 編集委員会のあり方について

昨年の編集委員会（於：西南学院大学）で決定された委員任期制の導入に伴い、そのあり方について議論した。「委員の任期は2年とし、再任は妨げない」という規則が満場一致で承認された。

なお、「編集委員会規定（仮称）の案文を編集委員長、編集副委員長2名、参与の合計4名（執行部）で作成し、編集委員全員に諮ったうえで正式に成文化する」ことが承認された。

3. 委員の交代について

川瀬義清委員（英語学部門）の後任選出に関して議論をした。「英語学部門で候補者2名（第一候補、第二候補）を編集委員会に推挙してもらい、ご本人の内諾を得たうえで編集委員会でこれを承認する」ことが決定された。

*補記：2007年11月1日付けで大橋浩先生（産業医科大学）を川瀬委員の後任とすることが、編集委員会の書面会議（10月30日実施）で承認された。

4. その他

数名の委員より投稿論文査読後の編集委員会開催の必要性について発言があった。査読体制の強化や査読結果の公開性等に鑑み、「査読結果が出た時点で毎年1回編集委員会を開く」ことを決定した。編集委員会の日時等の詳細については、後日、編集委員会と事務局で詰めることとした。

なお、支部大会第1日目の午前中にこれまで開かれていた編集委員会は、今後、必要に応じて（必要がある場合にのみ）開催されることが決まった。

以上